

ヒロシマピースセンター2020

第30回谷本清平和賞 受賞者 森瀧春子 氏（授与式2018年11月11日）



【受賞理由】“核と人類は共存できない”と訴えてきた父森瀧市郎先生の遺志を引き継ぎ、核被害者に寄り添って、様々な反戦反核活動に積極的に取り組んでこられました。一方、核戦争危機にあったインド・パキスタンへ平和行脚を実践し、また放射線被曝の視点からウラン兵器禁止活動を先導し、さらにノーベル平和賞を受賞した I C A N と連携し広島から市民運動を開催して、核兵器禁止条約成立に貢献されました。

よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

第31回谷本清平和賞 受賞者 矢川光則 氏（授与式2019年11月17日）



【受賞理由】調律師として古いピアノを再生し福祉施設等に寄贈する奉仕活動を始められ、この活動を重ねる中で被爆ピアノと出会い被爆体験者との関わりを持たれるようになりました。原爆の爆風や熱線により傷ついた被爆ピアノを蘇らせ、その音色を多くの人に聞いてもらい、平和を考えるきっかけにしてほしいと、自らがトラックを運転し、全国各地で被爆ピアノコンサートの活動を長年続けられています。

よって、谷本清平和賞の趣旨に則り顕彰することとなりました。

谷本清平和賞の受賞者・団体

第1回 1987年	ノーマン・カズンズ氏
第2回 1988年	フロイド・ショモー氏
第3回 1990年	栗原貞子氏
第4回 1991年	森瀧市郎氏
第5回 1992年	今堀誠二氏
第6回 1994年	ジョン・ハーン氏
第7回 1995年	ヒロシマを語る会
第8回 1996年	金 信煥氏
第9回 1997年	村井志摩子氏
第10回 1998年	江口 保氏
第11回 1999年	伊藤隆弘氏
第12回 2000年	ワールド・フレンド・シップ・センター
第13回 2001年	河本一郎氏
第14回 2002年	中沢啓治氏
第15回 2003年	吉永小百合氏

第16回 2004年	平岡 敬氏
第17回 2005年	新藤兼人氏
第18回 2006年	学校法人広島女学院
第19回 2007年	在韓被爆者渡日治療広島委員会
第20回 2008年	高橋昭博氏
第21回 2009年	平野伸人氏
第22回 2010年	夏の会
第23回 2011年	坪井 直氏
第24回 2012年	碓井静照氏
第25回 2013年	小倉桂子氏
第26回 2014年	サロー節子氏
第27回 2015年	秋葉忠利氏
第28回 2016年	ピーターソンひろみ氏
第29回 2017年	公益財団法人原爆の図丸木美術館

第29回 日本語による世界平和弁論大会（授与式2018年11月11日）

最優秀賞受賞者 ナヴァルチコヴァー ペトラさん

題 「輝く未来のために」 山陽女子学園高等部（スロバキア出身）

【要旨】私は、広島に来て、痛みや悲しみ、怒りを見ることになると思っていたが、希望や平和や愛を目にしたのです。広島で、危険が起こる前に行動に移している大勢の人に会いました。世界中に平和と愛を広げるために、英語を学んでいる人にも会いました。だからこそ、私たちは勇気をもって、過去のことより未来について思い切って人前で話すべきです。私は、この留学からもらった経験を生かしたいです。聞いた話や会った人や受けた刺激について話すためです。輝く未来のために。

最優秀賞を受賞するカンテルスさん



出場者全員が舞台に集う



第30回 日本語による世界平和弁論大会（授与式2019年11月17日）

最優秀賞受賞者 カール ステファン カンテルスさん

題 「戦争難民—ふるさと」 広島市立広島中等教育学校（スウェーデン出身）

【要旨】僕のひいおばあちゃんは、第2次世界大戦中に侵略されたエストニアから難民となってスウェーデンに移民として受け入れられました。ひいおばあちゃんは、スウェーデンにいつも感謝していましたが、スウェーデン語を覚えずエストニアの言葉を話していて、ここはいつまでも故国にありました。自分の「ふるさと」を逃げださなくてよくなるように、地球の全ての場所に平和を築かないといけないのです。平和とは、自分が生まれたところ、育ったところ、大切な場所、大切なひと、その全てを守ることだと思います。

世界平和弁論大会最優秀賞の受賞者

第1回 1990年	王 志松さん（中国）	第15回 2004年	スザン・チャラドルさん（タイ）
第2回 1991年	カン・ハサンさん（インド）	第16回 2005年	任 麗潔さん（中国）
第3回 1992年	アリーン・チャーン・ワイさん（マレーシア）	第17回 2006年	ジヤルソン・ティアンクンさん（タイ）
第4回 1993年	榮 勇さん（中国）	第18回 2007年	セシル・ヤン・アイダさん（カナダ）
第5回 1994年	アン・セールさん（フランス）	第19回 2008年	カミンティ・バラスリヤさん（スリランカ）
第6回 1995年	アーラン・チャム・チャイキットさん（タイ）	第20回 2009年	ルハサ・ヤ・エルデ・ネバットさん（モンゴル）
第7回 1996年	ハトリシア・オメスさん（ベネズエラ）	第21回 2010年	ヌルタ・ナ・アディルハノワさん（カザフスタン）
第8回 1997年	フルカット・フェイズさん（中国）	第22回 2011年	アシカ・エリ・アイダナさん（カザフスタン）
第9回 1998年	アリソン・マクナラさん（オーストラリア）	第23回 2012年	スマイルカノリ・マディカさん（カザフスタン）
第10回 1999年	劉 艷さん（中国）	第24回 2013年	カーラ・ボレスさん（ドイツ）
第11回 2000年	リスキー・ブリさん（インドネシア）	第25回 2014年	任 欣雨さん（中国）
第12回 2001年	ホアン・ペドロ・メンドーザさん（コロンビア）	第26回 2015年	ノイバート・ユリアさん（ドイツ）
第13回 2002年	朴 紅梅さん（中国）	第27回 2016年	ウフナーロヴァーナミコ（スロバキア）
第14回 2003年	ケリー・スミスさん（アメリカ）	第28回 2017年	フランシスカ・レペ（チリ）